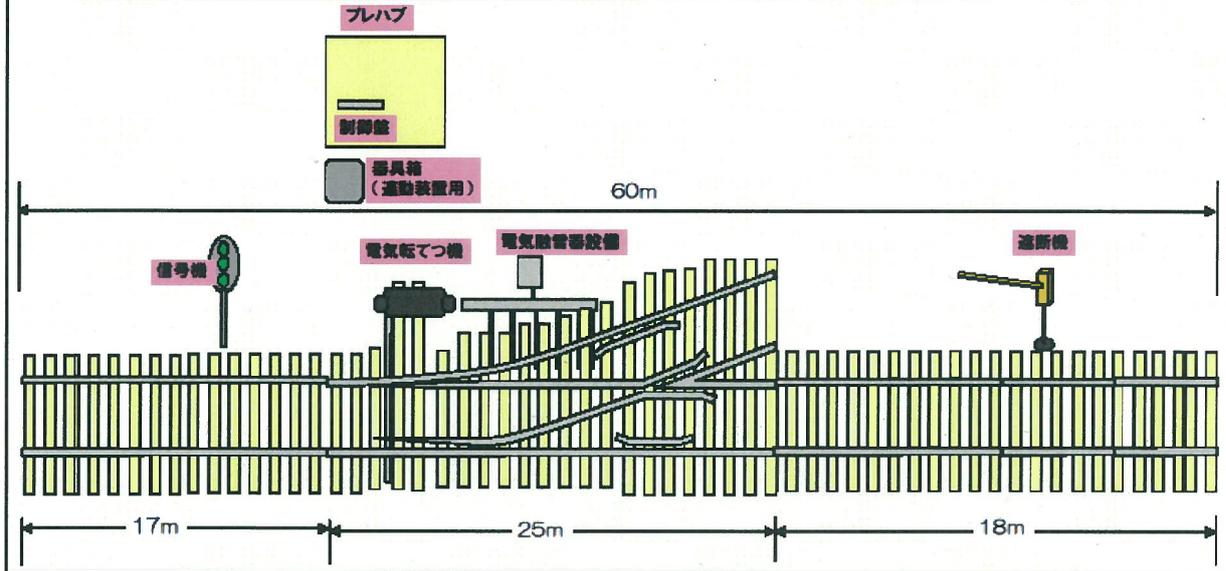


業 種	鉄道・軌道
取組分野	教育・訓練
テ ー マ	直轄施工による設備保守訓練線の敷設とそれを活用した鉄道技術の継承
取組の狙い	安全・安定輸送を支える鉄道技術者として、自らの知識と経験に基づき鉄道施設を検査・診断し、事故対応を含め高度な技術的判断や必要な措置を講ずることのできる能力を身につけること。
具体的内容	<p>平成14年に開業した当社では、急速に新卒社員を採用していく一方で、これら若手プロパー社員の効果的な人材育成（技術継承を含む）が大きな課題であり、こうした状況に対応するため、自らの計画・設計・施工により、転てつ機（注：分岐器を動かす装置）や信号装置を備えた設備保守訓練線の敷設に取り組むこととした。</p> <p>平成19年度（準備） 訓練線の敷設に係る計画立案と完成後の取扱い（活用）に関して、下記3点を基本事項とし検討を行った。 ①害等発生時に早急な対応ができる能力を身に付けること ②各系統（土木・軌道・電力・信号通信：以下同じ）の知識を幅広く学ぶこと ③納得できるまで作業や訓練を行えること</p> <p>平成20年度（施工） 随時ベテラン社員の直接指導を受けながら、各系統のリーダーを中心に施工計画を立案し、直轄施工を実施したことにより技術継承が図られた。 施工にあたっては、個々人の専門分野に偏らず各系統の若手社員が互いの設備・機能を学びながら施工するとともに、営業線の外注工事で発生した不要材料を有効活用することで経費節減にも努めた。</p> <p>平成21年度（施工後） 完成した訓練線を活用し技術継承と人材育成を行う若手社員勉強会において、信号通信グループの若手プロパー社員が講師役となり、電気転てつ器や制御盤の仕組み及び動作について他系統の若手プロパー社員への指導を行った。</p>
取組の効果	<p>準備段階から敷設完了まで、各系統の若手社員同士が連携しながら、ベテラン社員の指導も仰ぎつつ直轄で施工することにより、自らの専門の枠を超えて鉄道技術に関する幅広い知識を習得することができた。</p> <p>施工後は、当該訓練線を活用し若手プロパー社員の人材育成と技術継承に取り組んでいる。</p>
事業者名	アイジーアールいわて銀河鉄道株式会社 （連絡先 019-652-9803）

訓練線設置概要図

各系統の主な材料(器材)について、営業線の取替工事等で発生した中古品(発生材)の再利用(有効活用)している。

軌道材料 (発生) レール 並・PCマクラギ レール締結装置 軌道パッド 分岐器 その他	電力材料 (発生) ケーブル 電気融雪器 RCTラフ 閉閉器箱 分電盤 その他	通信材料 (発生) 信号装置 信号機柱 継電連動装置 信号器具箱 踏切保安装置 その他
---	--	--



マクラギ仮置



レール移動



レール&マクラギ設置



犬釘打設



軌道検測



バラスト突き固め (一般区間)



バラスト突き固め (分岐区間)



軌道設備全体



制御盤組立